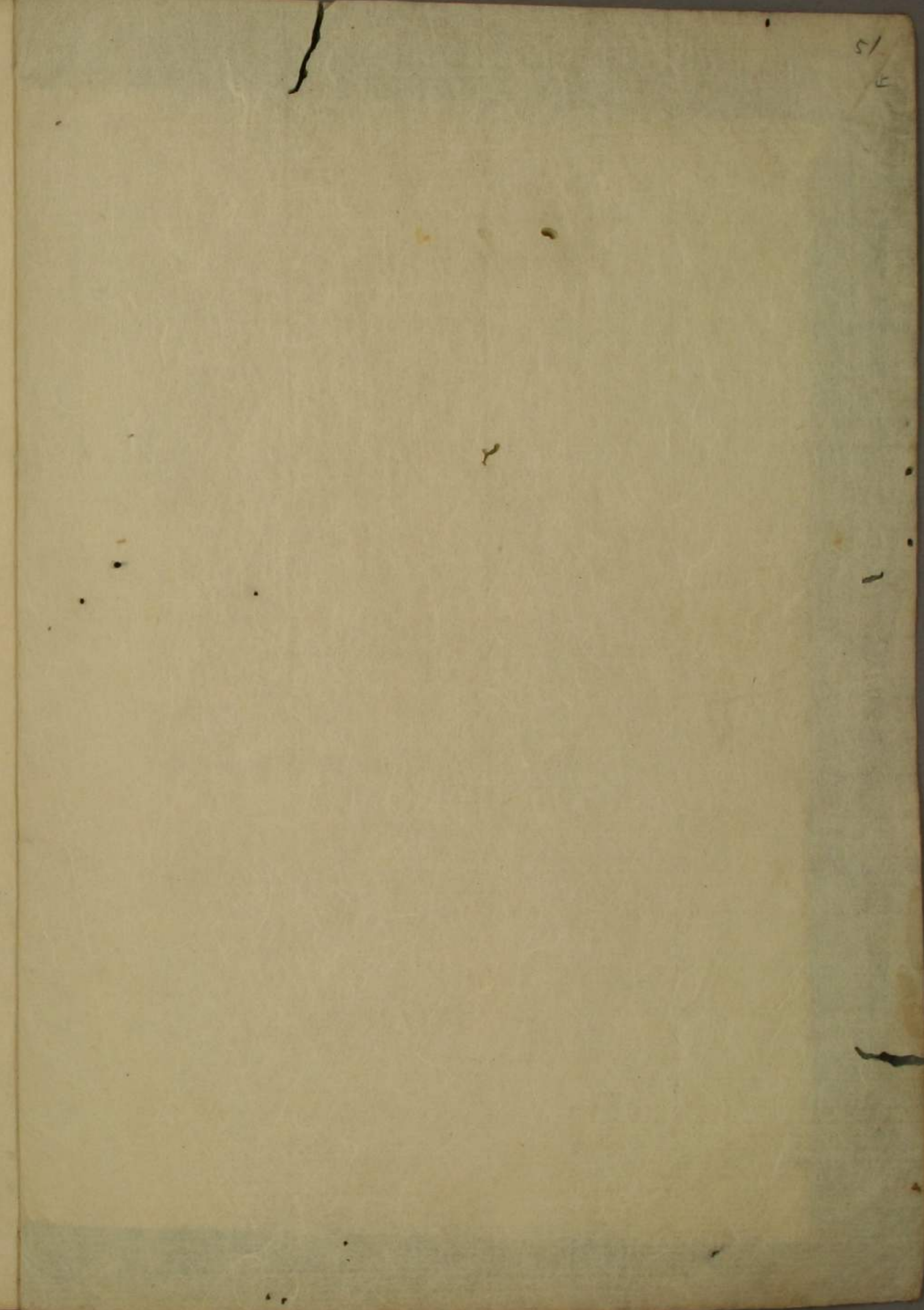




体氏説...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...



利粒  
20  
257  
巻

源氏物語引哥

ふりつが

さしこもいお守れあ〜のさび〜あわれ〜さるれまはれ板戸也

朗傳

名と我い〜さる〜さる〜昔れ世〜さる〜まほ〜

後撰雜二

さる〜さる〜あま〜れつ校もあつ地とけはさ〜病をい〜さる〜あま〜

古今悉二

さる〜さる〜さる〜さる〜河下〜さる〜ひて〜さる〜

方

さる〜さる〜さる〜さる〜あま〜れつ校もあつ地とけはさ〜病をい〜さる〜あま〜

古哀傷

さる〜さる〜さる〜さる〜あま〜れつ校もあつ地とけはさ〜病をい〜さる〜あま〜

後撰中

さる〜さる〜さる〜さる〜あま〜れつ校もあつ地とけはさ〜病をい〜さる〜あま〜

あつ〜あつ〜あつ〜あつ〜あま〜れつ校もあつ地とけはさ〜病をい〜さる〜あま〜

あつ〜あつ〜あつ〜あつ〜あま〜れつ校もあつ地とけはさ〜病をい〜さる〜あま〜

あつ〜あつ〜あつ〜あつ〜あま〜れつ校もあつ地とけはさ〜病をい〜さる〜あま〜

あつ〜あつ〜あつ〜あつ〜あま〜れつ校もあつ地とけはさ〜病をい〜さる〜あま〜

古巻

後雜一

ひくまのやふれうつはさくさくあつあつはらうもすさくさくわらうも  
人のあやの心はやまわねもあつあつはらうもすさくさくわらうも  
あつあつはらうもすさくさくわらうもすさくさくわらうも

六帖

後雜一

人のあやの心はやまわねもあつあつはらうもすさくさくわらうも  
あつあつはらうもすさくさくわらうもすさくさくわらうも

天曆

後文

あつあつはらうもすさくさくわらうもすさくさくわらうも  
あつあつはらうもすさくさくわらうもすさくさくわらうも

指雜

新古今

あつあつはらうもすさくさくわらうもすさくさくわらうも  
あつあつはらうもすさくさくわらうもすさくさくわらうも

古雅下

古雅

あつあつはらうもすさくさくわらうもすさくさくわらうも  
あつあつはらうもすさくさくわらうもすさくさくわらうも

伊勢

指雜

あつあつはらうもすさくさくわらうもすさくさくわらうも  
あつあつはらうもすさくさくわらうもすさくさくわらうも

兼補

紀要

兼補

雅正

雅正

傍正

在系

傍正

平定

古誦

ありぬやとさうりさうりさうりあひまひにふれはるるまてをき

後秋上 困院 わつちの七夕つあまあちりさうりさうりぬよとさうりあまをすそをさうり

後秋下 くしんちうす さうりさうりに秋もあわうか立田娘もみちをじさわ山もさうりあかん

後秋上 伊勢 雲わさしてあひさうりさうりぬ月もいと秋やさうりてゆくさうりあかん

催馬承 くしんちうす 死き井上さうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋下 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋上 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋下 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

後秋上 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

後秋下 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

風信号 くしんちうす 世中いらんさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

催馬承 くしんちうす かゆあまのさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

後秋上 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

後秋下 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋上 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋下 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋上 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋下 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋上 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋下 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋上 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋下 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋上 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋下 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋上 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古秋下 くしんちうす 秋はさぬもさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

夕やいづちら〜一月もちてくれワセこそれもももん

六歌集  
ワれゆれゆれせしき〜ひらう八〜きいぬちもは十六

六折二  
凡そけとくはひひてはらう〜あげんと暮よひひて〜物候

後志二  
あまのつゆのうら冬のよは〜うらとけ〜うらやそね〜

後志二  
うらうらあひのうらあま〜うらわけて暮れ〜れり〜

後志二  
すくやまりせかれあめ〜すて夜とけあれ〜うとく人〜

後志二  
枕よりあま〜うら人〜あま〜い〜あま〜あま〜あま〜あま〜

古雑下  
さうくも物ももろも〜あま〜せ〜うら〜あま〜れ〜ワカ〜あま〜ん

六折  
あまのきん〜玉のう〜てち〜も〜い〜き〜む〜く〜く〜ん〜あ〜ま〜り〜い〜ね〜め

古雑下  
世中〜い〜つ〜れ〜く〜して〜つ〜ら〜ん〜ゆ〜き〜の〜あ〜ま〜も〜と〜や〜も〜

古雑上  
あまの〜あ〜ま〜あ〜れ〜の〜ら〜く〜も〜れ〜あ〜ま〜の〜ら〜く〜人〜あ〜ま〜あ〜

古志二  
夕ま〜れ〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜

万  
あま〜う〜す〜く〜い〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜

古麻  
あま〜う〜す〜く〜い〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜

万  
あま〜う〜す〜く〜い〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜

古抄二  
あま〜う〜す〜く〜い〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜

古抄下  
あま〜う〜す〜く〜い〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜

古志二  
あま〜う〜す〜く〜い〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜

六折  
あま〜う〜す〜く〜い〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜

後雜二

別集

四

ひつぎれ 姫

後三

うらみ人一首

後四

うらみ人一首

五

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首

右志

うらみ人一首





後志二

土佐

我神の者よりまれば心もさうりはのこさぬ日いしち

古志二

兼平抄下

秋のよきかきあきれば社よりもあはれてこころもひらきさうり

元真集

つらねあはれつらんうらなみかこころれつらんさうり

あはれあはれさうりもさうり人の神もあはれさん人もあはれ

百

よそよのこころやのんねのすきつむされりよしてとこ

くれあねのあはれさうりさうりさうりさうりさうりさうり

凡活評

多良女乃花如加祿利好年夜滅紫色好年夜

精進

こころあはれさうりさうりさうりさうりさうりさうり

精進

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

在志一

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

在志一

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

中活大細公相伝

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

万

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

あはれさうりの賛

在志二

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

兼平

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

兼平

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

兼平

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

兼平

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

兼平

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

兼平

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

兼平

あはれさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり







元良

格表

後報一

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

備忘

行巻

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

素直法

次下

奥の山に雲が立ち上りて  
空を白く染めしむる  
時ぞは秋の風も涼しく  
水も清く流るる  
山も静かに立寄りて  
雲も静かに立ち上りて  
空も静かに白く染めしむる  
時ぞは秋の風も涼しく  
水も清く流るる  
山も静かに立寄りて  
雲も静かに立ち上りて  
空も静かに白く染めしむる

右別

右三

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

右表

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

友則

新古抄上

古籙下

このゆえにうらうらむいふに海一のうらうらむれふのしつと

赤人

行平

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

白波はうらさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

六帖

後籙一

人のちやの心はあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

兼浦

つせ人のあやまを物そちうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

古抄上

後籙一

後籙二

玉籙二

波うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

古籙一

古籙下

新古抄下

後籙二

権馬手

拾遺四

我

あ

あ

あうまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのま

あうまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのま

後籙三

後籙四

新古抄

あうまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのま

忠見



一統

あはつるか子日くあまらういふと松をこもひくへうたれ

古報下

ふく人うす

いふらん若母れ中一子もたれせれうさうれさうしこらん

古報上

作勢

とくもれううううとらううくもれ我をこもくへくくそてけかか

古報下

ひ先なりつあよすびんさけひれさうーさうんさうれうん先を

古報上

ふく人うす

ころりすうよ又もあうさ若い立ぬ人ー人うううぬせあーす人

古報二

元長親

ふひわれ今ううかちー難はちの力をつーてもあさんさうさ

古報上

ふく人うす

難はううさうさううーあまの衣さうのさ極よー何ちのさうさ

古報下

つーあひ

あまうりさうれく遊をさうゆけえ名うけくれぬれさう有る

古報上

つーあひ

今いさう遊うさうさうれけぬれひれさうさてさうさうさう

古報下

はらううさうさうあさんたれ海よーさうさうさうさうさう

古報上

汗平下

はらううさうさうあさんたれ海よーさうさうさうさうさう

古報下

三の

今さういふあひせん竹のこのさうーあけさせとれさうさ

古報上

高野皇

若さうくさうさうのうのさうさうのさえきりさうさうさう

古報下

ふく人うす

世中さびさうさうわさうさうせん紙力ひさのあまうれさう

古報上

あひのさう

さうさうあまのさうさうせんさうさう人さうさうさうさう

古報下

これさう

すさうさうあまのさうさう衣さうさうさうさうさうさう

古報上

これさう

さうさうさうあまのさうさうさうさうさうさうさうさう

古報下

忠見

さうさうさうあまのさうさうさうさうさうさうさうさう

古報上

ふく人うす

さうさうさうあまのさうさうさうさうさうさうさうさう

古報下

ふく人うす

我座さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

古報上

ふく人うす

さうさうさうあまのさうさうさうさうさうさうさうさう

古報下

三の

さうさうさうあまのさうさうさうさうさうさうさうさう

古報上

三の

さうさうさうあまのさうさうさうさうさうさうさうさう







後雅下

後雅三

何やのあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

今くちのちひんらんそらり人つてもそりつりつりつりつり

まさよりのあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

つらうてあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

つらうてあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

なまごえ

秋はる伏夕まくれこそこころあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

つらうてあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

つらうてあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

つらうてあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

後雅

後雅三

し女子の袖あつた心のつらうてあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

平度綿度最良度綿花備酒毛可良多万半多度度

近麻政度半度綿花備酒毛可良多万半多度度

つらうてあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

つらうてあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

つらうてあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

まごえ

世中はらりしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

つらうてあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

つらうてあやこふはしきりくひのてきりつたあはれあはれあはれあはれ

後雅

後雅

後雅

後雅

圓章

乃雅

元棟

後雅

後雅

後雅

後雅

人丸

後雅

乃雅



梅系さけりて人よあしあれはこりてあし守まれし  
催さる

うきうきとあれはあはれしりきりやれつりきりや  
左新下

うきうきとあれはあはれしりきりやれつりきりや  
右新上

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
法別

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
後新一

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
信明集

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
催さる

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
二時

とありて

心うきとあれはあはれしりきりやれつりきりや  
左列

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
うきうき

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
催さる

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
安徳法行

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
二時

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
作務

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
古歌一

あはれしりきりやれつりきりやれつりきりや  
大田



こころのさびしさをいふのさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふ  
わづらひをいふさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふ  
六帖

つらさ

こころのさびしさをいふのさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふ  
なされいかにいふさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふ  
古恋一

のさびし

こころのさびしさをいふのさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふ  
さびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふ  
後秋中  
俗歌下  
後秋中  
俗歌中

こころのさびしさをいふのさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふ  
さびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふ  
古恋四  
古恋一  
後秋一

さびし

こころのさびしさをいふのさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふ  
さびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふさびしさをいふ  
伊勢  
明石  
古恋一  
後秋中  
厚巻集

後注系

あつちのむらさきくさの種のはつちうー

後注系

さうのこのさうの種やきさうんあー

とすれぬ後うー早うれはつちうー

あつちのむらさきくさ

後冬

六林

後別

雁子系

首去

カ

あつちのむらさきくさの種はつちうー

人ぬ

名雅

後考

あつちのむらさきくさ

後考

あつちのむらさきくさ

新注系

あつちのむらさきくさの種はつちうー

後注系

後注系

後注系

俗上

カ

カ

後注系

六林

後注系

後注系

後注系

あつちのむらさきくさ

後考

あつちのむらさきくさ

後考

あつちのむらさきくさ

後考

あつちのむらさきくさ

後考

あつちのむらさきくさ

後考

あつちのむらさきくさ

後考



梅の歌

古巻上

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

古巻上

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

催しの下

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

古巻下

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

素性法

梅の香

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

一条梅歌

梅の香

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

中務

梅の香

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

古非

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

梅の香

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

古巻四

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

梅のうらみ

信房

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

後巻下

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

二の巻

後巻下

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

新巻下

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

徳富下

催馬

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

梅の香

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

梅の香

梅の香はちやうりやうりあつしうり人の心はちやうりやうり

これぞわがわがの心 *My heart is here*

約百表一

お吉の心

しんせ

みづりなる松よちまわの鼓を打て *Water flows, the drum beats*

清原巻二

伊勢

まゝに心をこめて *As is, with heart*

権三

いづれも *Wherever*

いづれも *Wherever*

伊勢集

あまのわが *Amami no waga*

わがわがの心 *My heart is here*

伊勢

たゞ *Just*

法鏡二

これぞ *This is*

いづれも *Wherever*

いづれも *Wherever*

百表

いづれも *Wherever*

我を *Myself*

後

わが *My*

右林下

わが *My*

いづれも

いづれも *Wherever*

いづれも *Wherever*

伊勢

いづれも *Wherever*

いづれも *Wherever*

後

いづれも *Wherever*

後

いづれも *Wherever*

いづれも *Wherever*







百三二

友ののびるさきもどきなるもさきなるものなり

百三

涙のなみだりしるもさきなるものなり

じよはれぬもさきなるものなり

人の世のさきなるものなり

伴博

さきなるものなり

後頼一

人の世のさきなるものなり

新長

まればもさきなるものなり

傍に通

古雅上

さきなるものなり

さきなるものなり

古雅上

あつさりするものなり

後頼下

月日れしものなり

あつさりするものなり

さきなるものなり

後頼二

あつさりするものなり

古表

あつさりするものなり

古表下

あつさりするものなり

古表

あつさりするものなり

古表四

あつさりするものなり

あつさりするものなり

さきなるものなり

後頼二

あつさりするものなり

後頼二

あつさりするものなり

古表下

あつさりするものなり

右親下

在長

後拾親一

あさくらに小藤くあま

白雲より

秋風よ

在急一

催下

あつち

あつち

古秋上

古親下

後秋中

後秋夜

後去下

親山院

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

号

うら

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

千巻下

りつぎどかよふさうりかめさもふりてぐれたよけつれ

後秋下

日くしれいふもいふもくくくくくくくくくくくくくくく

古秋上

我のこやまとおもひんこくくくくくくくくくくくくくく

大和御流

あひそやまもあひそやまもあひそやまもあひそやまもあひ

并系方

それいふそやまもあひそやまもあひそやまもあひそやまもあ

後秋下

あひそやまもあひそやまもあひそやまもあひそやまもあひ

古歌下

あひそやまもあひそやまもあひそやまもあひそやまもあひ

古歌下

あひそやまもあひそやまもあひそやまもあひそやまもあひ

古歌下

あひそやまもあひそやまもあひそやまもあひそやまもあひ

古歌下

あひそやまもあひそやまもあひそやまもあひそやまもあひ

古歌下

あひそやまもあひそやまもあひそやまもあひそやまもあひ

古歌下

あひそやまもあひそやまもあひそやまもあひそやまもあひ

古歌下

あひそやまもあひそやまもあひそやまもあひそやまもあひ

百五

乃因法一

つゆい

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

百五

乃因法一

つゆい

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも

あひそやまも



秋のよれ月れひらりーあつたれそくふの心もこころぬくあり

後表

行巻

あつた人のけりまよひぬちの木のこころもあつた心もこころ

こころもあつた心もこころぬくあり

新古表

古排

ありぬちの心もこころぬくあり

こころもあつた心もこころぬくあり

この心

行巻

後表

法衣をまきしこころぬくあり

古表一

古表二

あつた人のけりまよひぬちの木のこころもあつた心もこころ

付表秋

秋のよれ月れひらりーあつたれそくふの心もこころぬくあり

和泉或戸

和泉或戸

後表二

後表二

後表二

後表

古表

後表

後表

後表

後表

後表

後表

後表

後表

後表

後表

後表

後表

後表

後表

後表

後表

よかろー

後巻下

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

うきうきと暮

後巻上

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

うきうきと暮

古表

あすはうきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

後巻中

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

古巻一

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

古表

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

古巻下

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

古表

世中からうきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

後巻

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

古巻四

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

古表

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

古巻一

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

古表

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

古巻一

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

古表

うきうきと暮のひらうらうらとくはうきうきと暮のひらうらうらとくは

後叙

あつとよあさおー秋の家さうりくくんとねとさひくけさや

三上約ト

神無月いつもあつれかりーくく神ひつらありにありりい

おれにやーやーのんよーあ人ーあさうくも人さまあわり

くひるーとさひちさひそ水くまれ流りちせれくくありり

後冬

物さゆとすうり月日とさあまきよーささよさそあさあ

あつこの物ト

よつあふ文

よつあふれあおあゆりさちれさがつらうくよはれろぬれゆり

右秋上

ささあめくくくくはゆれ秋のよさあめさけー散らうあなも

そせい法ー

右冬上

梅のささうりうりわりーより人のささむらうのそささく

あまんとさくす

右秋上

秋くくあさくくくあさくくあさくくあさくくあさくく

同

右冬上

あさのよれやまあやあー梅のささうりくくささくく

さうね

水子

やとさあああやとあさあさうらやとさあああやとさああ

これやーうら

紅葉

右冬上

あさくくこれよーあさあ梅のささうりくくささくく

友則

根てのほさ人のつーくくくくくくくくくくくく

後冬上

これあおのつらよーあさあ梅のささうりくくささくく

後冬下

あさくくこれよーあさあ梅のささうりくくささくく

行河

右冬上

くくくくくくくくくくくくくくくくくく

催了承

梅くくくくくくくくくくくくくくくくく

催了不

これよれいれくくくくくくくくくくくく

権子系

竹川の...のつらあ...のまされよ

古突 橋をらりくひらされた...のりよ

後方 茶島のつらあ...のりよ

古去上 さく...のりよ

後去中 大元...のりよ

後後拾遺四 カ...のりよ

古去上 ...のりよ

古去上 ...のりよ

竹川の...のりよ

古去上 ...のりよ

権馬系 ...のりよ

い...のりよ

権報上

世中をく...のりよ

新...のりよ

菅家...のりよ

大和地...のりよ

大和...のりよ

...のりよ

...のりよ

...のりよ

...のりよ

...のりよ

...のりよ

古本三

古報下

伴勝

六板

古本四

古本三

後後報下

古報三

古報二

古報一

古報一

古報一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

古本三

古本二

古本一

古本一

古本一

古本一

古本一

古本一

古本一

古本一

古本一

古本一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

七巻一

百長

つわさゆくたふたうのてささしんむすまふとさひさりーを  
あけぬれんちちうしんまきうーとあささひひーとあつたまわ

古三十一

さうれんぬひのぬぬひのぬぬまてささしんあう人ひひさうん  
後秋下

古三十二

い急さささささささわ人さねさうりなぬとりさうる  
古三十三

古三十四

あささうつさうつささひひ人のちささのぬぬのなささささりけり  
古三十五

古三十六

厚のうらさねのねさうりさわさのささひつささわ世の中れさ  
古三十七

古三十八

まればあされさうつやせれ中れさくれさささうりさうり  
古三十九

古四十

世はわれさうりさささされさうりさうりさうりさうりさうり  
古四十一

古四十二

あささのねさささささうりさうりさうりさうりさうりさうり  
古四十三

古四十四

あささひひさささささうりさうりさうりさうりさうりさうり  
古四十五

古四十六

あささひひさささささうりさうりさうりさうりさうりさうり  
古四十七

古四十八

あささひひさささささうりさうりさうりさうりさうりさうり  
古四十九

古五十

あささひひさささささうりさうりさうりさうりさうりさうり  
古五十一

古五十二

あささひひさささささうりさうりさうりさうりさうりさうり  
古五十三

ちうの

弟平

友列

ささひ

ささひ

傍心通昭

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

ささひ

怪馬系

あひもさやうしつりわさうさうしつりわさうさうしつりわさう

古巻一

うらひあひさうりさうりさうりさうりあひさうりさうりさうり

古巻上

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古巻下

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

附下集

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古巻一

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古巻又

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古巻

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古巻三

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

万

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

六折

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古巻下

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古巻四

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

古詳

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

後別

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

うらひさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり

神

神

万

ワカまれよおる世とてはなれぬとて思ふもやふとせんよふあはれ

世の人のこころよふとせむれにふしむるもよふとせんよふあはれ

世中とてはなれぬとて思ふもやふとせんよふあはれ

初志られし世にふしむるもよふとせんよふあはれ

ありあやと思ふもよふとせんよふあはれ

後秋下

うらみの世業をよふとせんよふあはれ

いふれあはれ海をうらむとてよふとせんよふあはれ

七ツれあまれ産海をうらむとてよふとせんよふあはれ

もみちをれをうらむとてよふとせんよふあはれ

りて人の世にふしむるもよふとせんよふあはれ

うらむとて思ふもや世中とありてよふとせんよふあはれ

いふれあはれとて思ふもや世中とありてよふとせんよふあはれ

世中とて思ふもや世中とありてよふとせんよふあはれ

あつちぬりかたをうらむとて思ふもや世中とありてよふとせんよふあはれ

世中とて思ふもや世中とありてよふとせんよふあはれ

世中とて思ふもや世中とありてよふとせんよふあはれ

世中とて思ふもや世中とありてよふとせんよふあはれ

世中とて思ふもや世中とありてよふとせんよふあはれ

世中とて思ふもや世中とありてよふとせんよふあはれ

世中とて思ふもや世中とありてよふとせんよふあはれ

世中とて思ふもや世中とありてよふとせんよふあはれ

神







後編一

古歌上

何れもこれへこれらめ候うさかんがさうまも候うさか  
日くこれらさうさう入る日さ書ぬとさういれけりそありけり

意どしてぬどのちけりもさう人の世のちいさあまそ物する

世わらう人わらうさあまはうさうまはすむ出の候うさうさ

ええんもれもさる世中とありさうれり身とゆとりん

あうり人のさあまはうさうさうさうさうさうさうさうさう  
教威女

力とこれ恨ねおせとさうさうさうさうさうさうさうさう  
中勢

うさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
水れあさか

そ人へこれさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
ふこ人へ守

人れこれさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
海田さうさう

あさう下やさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
さうさうさう

うらと世れさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

意どいぬわさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
伴勢

意どいぬわさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
後編二

むすいぬわさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
意志下御はれ

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
木原さう

秋さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
古歌下

意どいぬわさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
古歌下

いさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
つらさう

大いこれ候ひさうさうさうさうさうさうさうさう  
権下

いさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
いさうさう

借紙一

早

兼備

人のあやのさやあひのさきもほらちかちかゆとゆとひわらふ  
古紙上  
ありつれは種もよほ人梅れさありちかちかゆとゆとひわらふ  
新紙下  
くそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく  
借紙下  
あやちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

夕まれのつとちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

あつち

めち恋一

深きく

借紙右

いん人

古紙上

あつち

古紙上

あつち

借紙一

あつち

つとちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

借紙右

あつち

借紙

あつち

借紙

あつち

借紙

あつち

ひこはるゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

つとちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あはれもさすてめわう夏の新いひてもあつぬらうこそあれ

うけりんことささけし秋萩よあれぬらうもせけつるあ

せ中あめあもさそくれしうらうらうらうらうらうらうらう

人ひさるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

あつぬらうのあまりのののののののののののののののの

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

あつぬらうのあまりのののののののののののののののの

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

あつぬらうのあまりのののののののののののののののの

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

あつぬらうのあまりのののののののののののののののの

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

あつぬらうのあまりのののののののののののののののの

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

あつぬらうのあまりのののののののののののののののの

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

あつぬらうのあまりのののののののののののののののの

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

あつぬらうのあまりのののののののののののののののの

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

あつぬらうのあまりのののののののののののののののの

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

あつぬらうのあまりのののののののののののののののの

ツセ

七葉石

人

大信百世

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

指巻四

古巻一

新巻四

古巻下

伊勢

薩馬子

古巻四

古巻下

新巻一

大和

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

つらきもあつちあつちあつちあつちあつちあつちあつちあつち

れあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

白雲のいらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

古巻一

古巻

古巻

伴巻

我まはじちうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらい

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

いらいのれあやのうらまはるこもつらきもあつちあつちあつち

みくしつをねむるは昔むらりけりてんをわらわし

古地名

波の谷のうへにむすこをれけつるれんきれとらせん

後旅

壬子流世製

草花もみちじしうよくこころをくく地を

後旅

心よりのありせんをわらわしけりてんをわらわし

古地名

さくさくおぼろのうへやせにわらわしあはれ若を立ん

古地名

あつふふらふふふふれまをりなをりてんをわらわし

古地名

これともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

古地名

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

あつて

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん

作

あつてともうへにせんくくこれ松とけりれなをりてん





